

ESG スコアの保険引受業務への活用に向けた実証実験

東京海上日動火災保険株式会社(取締役社長 広瀬 伸一、以下「当社」)は、有限責任監査法人 トーマツ(包括代表 國井泰成、以下「トーマツ社」)と連携し、ESG スコアの保険引受業務への活用に向けた実証実験を実施いたしますので、お知らせします。

1. 背景

世界の ESG 投資が増大する中、企業経営においても ESG が重要な課題として認識されつつあります。また、22 年 4 月に予定されている東証の市場再編を見据えて改訂されたコーポレート・ガバナンスコード(21 年 6 月より施行)でも ESG に関する内容が大幅に拡充されています。

このような情勢のもと、当社は今後 ESG スコアを保険の引受に積極的に活用することを見据え、ESG に関するコンサルティングを数多く手掛けるトーマツ社と実証実験を実施することといたしました。

2. 実証実験の概要

ガバナンス分野を中心に ESG スコアとの関連が強いと見込まれる会社役員賠償責任保険(以下「D&O 保険」)を対象とした実証実験を行います。

ESG スコアは環境・社会・ガバナンスの 3 つの分野の取組みを評価しているものです。G(ガバナンス)では企業の取締役会の独立性や多様性、S(社会)では労働安全衛生やサプライチェーンマネジメント、E(環境)では気候変動対応、有害廃棄物の管理状況等について、企業が開示している情報を基にスコアリングしています。

当社は、この ESG スコアと、D&O 保険の引受時にリスク評価を行ってきた事項との相関が高いと考えました。実証実験では、AI を活用し、財務情報、過去に発生した株主代表訴訟や企業不正事件といった従来からのリスク評価項目に「ESG スコア(非財務情報)」を加え分析します。11 月中の実験完了を予定しています。

3. 今後について

当社は、実証実験の結果を踏まえ、企業の ESG スコア(非財務情報)と財務情報をもとに、AI を活用した D&O 保険のリスク評価モデルを開発し、22 年度にも D&O 保険の引受(保険料の割引制度等)への活用を検討します。

その後、企業分野の保険全般への展開を見据え、対象を段階的に拡大していくとともに、ESG に関連する新たな保険商品およびサービスの開発も進めてまいります。

当社は、これからもサステナブルファイナンス(環境・社会課題の解決を金融面から促進する手法・活動)により、社会課題を解決するために金融の果たせる役割を追求してまいります。

以上